



第4号様式 (第12条)

函館市IT・ロボット等活用生産性向上補助金等実績報告書

令和5年(2023年)2月15日

函館市長様

住所 函館市西桔梗町589番地39
申請者 氏名または団体名 昭和製菓株式会社
および代表者氏名 代表取締役 田口 輝

令和4年(2022年)11月14日付け函経工をもって補助金等の交付決定を受けた下記の補助対象事業は、令和5年(2023年)2月9日に完了したので、関係書類を添えて報告します。

記

- 補助対象事業の名称 商品ラベル管理のIT化と作業効率改善
- 補助金等交付決定通知額 金1,725,000円
- 補助金振込先(申請者の口座)

銀行名	支店名	口座の種類	口座番号
██████████	██████████	██████	██████
口座名義	(カナ) ██████████		
	██████████		

- 実績書 別紙のとおり

実績書

補助対象事業の名称	商品ラベル管理の IT 化と作業効率改善
実施内容	<p>多彩なラベルフォーマットに対応した汎用自動貼りラベラー（AP-800）のアプリケーターは上貼りと下貼りを同時に行う事が可能であり上貼りアプリケーターは商品ラベルの貼付け、下貼りアプリケーターは裏面表示ラベルになる。</p> <p>現状では商品ラベルは全て外注しており、裏面表示ラベルは自社作成と一部外注している状況だが本機種はラベル作成において自由にデザインする事が可能であり、基本のシールドラムを持つだけでデザインラベルを印字しながら上貼りと下貼りを行えるので外注ラベルやラベル在庫、貼付けミスによる商品ロスが無くなる。</p> <p>又、パソコン用データ作成ソフトにより簡単にネットワーク構築する事が可能で、ラベルデータの一元管理はもちろんの事、バーコードスキャナーによる商品呼出し、発行実績などの作業データを当社の生産管理システムに繋げることで、これまで人手依存でデータ化する事が出来なかった業務を IT 管理しラベル発行に関するクレームを無くす事が出来る。</p> <p>操作性については無駄を省いた簡単なタッチパネル操作であり、基本的にはバーコードスキャナーで商品と呼出して、スタート（発行）し、終了するというのを繰り返すだけで作業データが記憶され、必要であればドラム交換をしてスタートするというのを繰り返すだけなので、簡単な基本的動作を覚えると派遣社員も含めて、誰でも扱う事ができる機械である。</p>

期待される効果

平均的なラベル貼り作業量として1日あたり約3,000個貼っているので、3,000個を処理する能力の差を、導入テスト結果から算出した。

作業コスト(3,000個当たり) ※時給920円計算

・ラベル発行時間

現状約1時間(60分) = 作業コスト920円

・ラベル管理(ロール状のラベル切断)

作業員1名約1時間30分(90分) = 作業コスト1,380円

・ラベル貼り作業(表・裏面)

作業員2名で2時間30分(150分) = 作業コスト4,600円

・外注ラベル在庫(発注ロット1万枚、常時在庫5千枚)

シール1枚2.4円 = 在庫5千枚金額 12,000円

導入後の作業コスト(3,000個当たり) ※時給920円計算

・ラベル発行時間

ラベル発行無し = 作業コスト0円

・ラベル管理(ロール状のラベル切断)

ラベル管理無し = 作業コスト0円

・ラベル貼り作業(表・裏面)

作業員1名で1時間30分(90分) = 作業コスト1,380円

・外注ラベル在庫(発注ロット1万枚、常時在庫5千枚)

外注ラベル在庫無し = 在庫金額 0円

以上の結果から設備導入前後の1日の作業コストの対比では、導入前1日作業コスト6,900円に対し、導入後1日作業コスト1,380円となり、自動化によるコスト削減で1日当たり-5,520円の効果を得られる。

更に外注ラベルの発注サイクルで合わせたコスト計算では、発注サイクル3日毎として20,700+12,000-4,140=28,560円のコストを削減可能。

	<p>作業コスト削減＝作業効率向上によって、事務員の拘束時間解消によるお客様対応の向上（販売対応など）、必要作業員の削減により他作業へ転用、重大なラベルクレームリスクが無くなる事により関連する作業員の負担減少や会社の信頼性・企業イメージの向上が得られる。</p>
<p>今後の展開について</p>	<p>作業効率向上によって人員の他作業への転用が可能になった為、既存製品の増産や新商品開発を行っていき、積極的な営業活動を展開していく。 又、他作業で IT 化可能な作業ラインが無いか調査し更なる効率化を目指していく。</p>

(注) 1 実績書の内容について、詳細に記載すること。(別紙も可)

【添付書類】

- ① 収支決算書 (第5号様式)
- ② 補助対象経費に係る支出を確認することのできる書類の写し
(例：銀行振込受領書, 領収書等)
- ③ 機械装置等を導入または改造もしくは改良した場合は、当該機械装置等の納品が確認できる書類 (例：納品書, 契約書等) およびその機械装置等の写真や概要がわかる資料等

収支決算書

収入の部

(単位:円)

項目	本年度予算額		本年度決算額		増減		内訳
		うち補助対象経費		うち補助対象経費		うち補助対象経費	
自己資金	1,725,000	1,725,000	1,725,000	1,725,000	0	0	
函館市補助金	1,725,000	1,725,000	1,725,000	1,725,000	0	0	
合計	3,450,000	3,450,000	3,450,000	3,450,000	0	0	

支出の部

(単位:円)

項目	本年度予算額		本年度決算額		増減		内訳
		うち補助対象経費		うち補助対象経費		うち補助対象経費	
汎用自動貼りラベラー (AP-800)	3,450,000	3,450,000	3,450,000	3,450,000	0	0	
					0	0	
					0	0	
					0	0	
					0	0	
					0	0	
合計	3,450,000	3,450,000	3,450,000	3,450,000	0	0	

収支差引額 0 円

(注) 1 金額については、すべて消費税および地方消費税相当額を除いた額で記載すること。